

2020年度 モデルプログラム実施事業所 募集

事業所の中核支援者モデル研修（仮称）のご案内

■モデル研修の目的は、「利用者の支援をチームで思考し、解決していく際に中心となって取り組む支援者（中核支援者）が必要なスキルや知識を身につけること」が目的となっています。

<プログラム例>

●ケースの概要を把握し、チームでアセスメントから支援の流れを考えることができる（問題行動の対応や支援内容の見直しなど）

●地域資源の役割を理解し、関連機関と連携した取り組みができる（ニーズを共有し、事業所の強みを理解し、関連機関と役割分担した取り組みができる）

●個別支援計画を効果的（適切な目標設定とスモールステップの支援）に進めていくことができる

等、おがるが提供するワークシートなどを活用して研修形式で学んでいく研修になります。

時期：2020年4月以降、月2回 6ヶ月程度 計10回程度

※時期や頻度については、事業所のご都合等と合わせてご相談に応じますのでお問い合わせください

内容：座学＋ワーク＋各事業所のケースを活用した演習
（テキストはこちらで用意いたします。）

1回 120分程度

場所：各事業所にて

費用：無料

対象：札幌市内の放課後等デイサービス事業をおこなっている事業所でサービス管理責任者や事業所の支援の取りまとめ役になっている方を対象としています。

・2020年度の募集はプログラムの効果測定を図るために放課後等デイサービスの事業所を対象として募集します。

・効果測定のためにいくつかの質問紙等のアンケート等にご協力をお願いいたします

・発達障がい講座スタンダードを受講している事業所を優先して選考いたします。

（発達障がい講座スタンダードを受講していなくてもプログラム受講決定後に事業所で2時間程度の座学を行う意思がある事業所も同様に優先いたします。）

・応募多数の場合、選考をさせていただく場合があります

募集期間：2020年4月中旬頃まで

（募集状況を見てHP上で募集を締め切る場合があります）

問合せ・申込：プログラムの内容やご質問は下記までお問い合わせください。

札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 担当：坂井

おがるの電話：080-3694-1950

おがるのメール：ogarukensyu@harunire.or.jp